



センター試験出願にふれて

今日集めるセンター試験願書の下書きは、なるべく早く返却するので、それを見ながら丁寧に清書し、払込用紙も添付して、受験する科目調査(A4の紙)とともに、14日(金)までに担任に提出すること。なお、私に提出する際は、廊下で会った時とか授業の後とかの危険地帯・時間帯?は避け(なにせ、移動の途中で落としたり置き忘れてりするかも知れない…)、できるだけTの時とか、職員室にいる時とかに持参するようにしてほしい。それがお互いのためである(笑)。

センター試験の出願については、たまに「出願し忘れていた」といったことがニュースになったりして、結構私たちも神経を使う作業なのである。だから、来年この作業をする2年生の担任の先生方や、進路部の先生方にも協力をあおぎながら、ミスのないように繰り返し点検して出願に備えている。その最終点検日が26日(水・開校記念日)なので、その日の午前中は、何かあった時にすぐに連絡をとれるようにしておくこと(基本的に自宅待機)。まあ、何もなしに事前に点検はするのだが、複数の新たな視点で見ると、意外な盲点が表れたりするのである。

*

受験科目のところで話題になったが、今回の出願では、例えば理社は、2科目受験か1科目受験かといった選択をする。2科目受験にした場合、その2科目の中身(どの科目を受験するのか)はその場で決められる。ただ、試験時間の130分は、最初の60分間で1科目を解答し、その後、10分間でその解答用紙を回収、そして、続く60分間で2科目目を解答するという順になっている。その科目が

1科目しか必要ない大学の場合、1科目目に受験した科目の得点を利用すると決めている大学もあるので、試験会場で受験する2科目を選択できるとはいえ、どちらを最初に受験するかは大切な判断になる。今後の学習状況や成績の伸びなどを見極めながら、どちらを先に受験するのかは、ちゃんと決めておくようにしましょう。

*

月曜日に返却したセンター模試の数学で、例えば「数学I A」を選択しなければならないのに、「数学I」を解いてしまった諸君が多くいたことを紹介した。同じ冊子に「数学I」と「数学I A」の問題が入っているのだが、「数学I」の方が前にあるため、よく確かめないうまま、最初のページから解答していったということだろう。途中で気づいたとしても時間が足らなくなるし、気づかないまま終了したりすると、受験したかった大学の指定する科目を受験していないことになってしまい、そもそもチャレンジできなくなってしまうわけだ。

笑い事のようにだが、そのミスをした本人にしてみれば、一瞬の不注意によって一年間の努力が水の泡になってしまうわけだから、ただ事ではない。自分はその手のミスは犯さないとと思っている人もいるかもしれないが、そう思っていて犯すのがミスなのである。

だから、模試には意味がある。今回も模試だから笑い事で済んだ。以後の模試も本番のつもりで受け、問題のみでなく、こういう点にも細心の注意を払うようにしよう。その繰り返しで、本番でのミスも防げるのだ。